授業科目　介護実習指導Ⅲ

【担当教員名】	対象学年	2・4	対象学科	社会（介護）
岡田　史、大槻美智子	開講時期	2年後期・4年前期	必修・選択	介護福祉コース必修選択
宮下榮子、渡邊敏文	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

実習Ⅰ，Ⅱにおける学びを基盤として、介護実習Ⅲ、介護実習Ⅳにおける実習目的や課題の明確化を図り、統合的な学習をおこなう。介護福祉士としての福祉観を深める。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

1、介護専門職の役割について理解を深める。
2、介護過程の必要性を理解し、個別援助計画を立案できる。
3、訪問介護の援助プロセス及び関連職種との連携について理解する。
4、訪問介護における介護過程を理解し、個別援助計画を立案し、サービス提供責任者の責務について理解できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		演習2年後期
2	介護実習Ⅰ・Ⅱを振り返り介護実習Ⅲの計画を立てる（目標を明確にする）。		演習2年後期
3	事例を用いて介護過程について深く学ぶ。		演習2年後期
4	介護過程に沿ったモニタリングや記録の手法を確認する。		演習2年後期
5	介護過程に沿ったモニタリングや記録の手法を確認する。		演習2年後期
6	利用者の状況についてアセスメントしプレゼンテーションができる。		演習2年後期
7	利用者の状況についてアセスメントしプレゼンテーションができる。		演習2年後期
8	訪問介護の実際について事例を通して学ぶ。		演習4年前期
9	在宅生活者の状況について事例を通して理解する。		演習4年前期
10	在宅生活を維持するための、社会資源について理解できる。		演習4年前期
11	訪問介護計画作成におけるアセスメントについて学ぶ。		演習4年前期
12	訪問介護計画作成におけるアセスメントについて学ぶ。		演習4年前期
13	訪問介護計画作成の手法について学ぶ。		演習4年前期
14	訪問介護実習における目標を明らかにする。		演習4年前期
15	訪問介護におけるモニタリングや記録について学ぶ。		演習4年前期

【使用図書】	<書名>　<著者名>　<発行所>　<発行年・価格・その他>
教科書（必ず購入する書籍）	4年前期　医歯薬出版株式会社「介護福祉士のための訪問介護」
参考書	必要時推薦します。
その他の資料	随時配布します。

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席及び受講態度とレポート	演習が中心なので、授業を聞くだけではなく、授業に参画する気持ちで出席してください。

社会福祉学科　専門